

奉祝
天皇陛下御即位二十年

清政

神道政治連盟京都府本部会報
平成21年11月26日発行(年2回発行)

御歌
いのち
生命ある
もののかなしき
早春の
光のなかに
ユスリカ
揺り蚊の舞ふ



ごまめの歯ざしり

日本を守ろう

天皇陛下御即位二十年奉祝委員会

第23回会員大会報告

事務局からの活動報告

せいせい書評

47



「ごまめの歯ざしり」



神道政治連盟京都府本部
副本部長 竹内 幸平

天皇陛下におかせられましては、本年御即位二十年の佳節をお迎えになりましたこと慶賀至極に存じます。皇室の安寧、弥栄を只管お祈り申し上げるばかりです。

自民党が混迷する中で行われた衆議院総選挙は、重要政策を政権公約から外し、耳に響きのいい公約を掲げた民主党が圧勝した。自民党に対して度お灸をと、多くの国民が安易な判断をした結果であるが、今後に大きな不安を抱かざるを得ない。すでに、国の根幹に関わる外交・防衛などに危惧すべき兆候が見られるようになってきた。国立戦没者追悼施設・夫婦別姓制・外国人地方参政権など、自国の文化・伝統の秩序を乱す虞のある政策が顔を出し始めているが、由々しき問題である。

清政の発行が、京都府下戦没者追悼慰霊祭の日であるので、今回は靖國神社と国立戦没者追悼施設の問題を

述べてみたい。

鳩山首相は総選挙公示前に、政権交代が実現した上でのこととして、「靖國神社への参拝はするつもりはない。閣僚の皆さんにも自粛を促していたきたい。」と発言、さらに「どなたもわだかまりなく戦没者の追悼が出来る国立戦没者追悼施設建設の取り組みを進める。」と表明していた。民主党の政策集に明記されている靖國神社の代替施設建設を、党の方針として打ち出しているのである。

岡田外相も「国家、国民のために命を落とした方をまつる場が不可欠」と述べ、国立追悼施設建設の明言したのである。政権発足後は「二歩進んで」「有識者に議論していただき、それを尊重する。」また「靖國とは切り離して考えるべきだ。」と述べ、より具体化している。

首相の発言、また党の政策方針として掲げられているため、代替施設建設の可能性は非常に高いように思われる。

国立戦没者追悼施設建設の建設機は、靖國神社へのA戦犯合祀を理由に、首相参拝に反対する中国などの非難を逸すためであることは明確である。中国などの非難をかわすために、その意向に副つて代替施設を建設したならば、世界の笑いものになり屈辱的な思いをしなければならぬ。中国などは日本の腰砕けを見抜き、一層の無理難題を仕掛けてくるであろう。

◀ そもそも日本には、A級・B級・C級の戦犯は存在しない。進駐軍が引き揚げた後独立を果たし、戦犯釈放、亡くなった方への恩給支給など、国会の決議を経て問題は解決済みである。処刑された方々は戦犯ではなく殉難者なのである。自国のために生命を捧げた方々に対し、その功業を讃え、国民がお祀りするのは世界の常識である。祖国を守るために散華された方々の思いに、我々はもっと酬いるべきである。純然たる国内問題である靖國神社問題に対し、他国の干渉を許すべきではない。靖國神社の代替

施設の建設は暴挙であり、英霊等の思いを踏み躪る行為として許すことは出来ない。政治家は国内干渉を許さないとばかり表明し正々堂々と参拝すればよい。

最も腹立たしく思うのは、「靖國神社へは天皇陛下も参拝されない。心安らに行かれる施設が望ましい。」との鳩山首相の発言である。陛下は、春秋の例大祭には欠かさず勅使を差遣しておられる。陛下は歴代天皇を尊崇され、その心情をご自身の思いとなさっておられる。それ故、明治天皇の思召により建設された靖國神社へお

寄せにられる思いは、昭和天皇と同様、篤い思いがおりと拝察される。国民が靖國神社に寄せる思い以上に、陛下は教育勅語に示されているご心情そのままに、お心をお寄せになっておられる。しかし中国などの靖國神社への避難に迎合し、その意向に副う態度を示す鳩山首相のような政治家が国民を誘導し、のさばっているようでは陛下もお参りできない。陛下が靖國神社へ参拝に行かれないのは、政治家及びその一味に責任がある。

靖國神社への年間の参拝者数は、五百万人とも六百万人ともいわれている。

御霊の鎮まらない無宗教施設へどれだけの人が訪れるかは疑問である。靖國神社を正しく理解する多くの国民は、戦没者追悼の中心的施設は靖國神社であると承知をしていることが、参拝者数からでも分かる。国外に恥をさらしてまでも代替施設が必要なのか。英霊等の思いを踏み躪りたいのか。「わだかまりなく」というが代替施設は新たなわだかまりを生み出すのではないか。

特別寄稿

今という時
Reflect the times

日本を守る。

神道政治連盟推薦 参議院議員
山谷 えり子 さん



危険な民主党の主張

永住外国人への地方参政権付与、選択的夫婦別姓制度の導入、戸籍制度の廃止：こうした国家や家族を弱体化させるイデオロギー色の強い政策を民主党は従来から主張してきました。安倍内閣のもと進められてきた教育再生についても否定する発言を繰り返しており、民主党が政権与党になった今、こうした政策が実行に移されていくことを心配しています。

日教組の意向をくんだ教育行政

私は、安倍内閣、福田内閣で教育再生担当の首相補佐官をつと

めましたが、教育基本法の改正、全国学力・学習状況調査の実施、道徳教育の充実、教員免許更新制度の導入をはじめとする一連の教育再生は多くの国民の支持をいただきました。

しかし今、民主党は教育改革を逆行させようとしています。たとえば教員免許更新制度や全国学力調査に関して、廃止するとしています。日本教職員組合の要求を反映したもので、民主党の輿石東参議院議員会長は日教組を支持母体としており、今年二月十四日に行われた日教組の会合で「私も日教組とともに戦っていく。永遠に日教組の組合員であるという自負を持つている」、「教育の政治的中立はありえない」と発言しています。

日教組は、以前から道徳教育について「内面の自由を侵害する」と反対しながら、いっぽうで建国記念日について「もともとは『戦争・天皇制をたたえる日』と教えたり、君が代は『憲法に反する歌』と教える等、偏った考え方を子供たちに伝えてきました。「日教組問題を究明し、教育正常化実現に向け教育現場の実態を把握する議員の会」の事務局長として日教組問題をこれまで追及してきましたが、総選挙の結果、日教組の支持をうけている民主党が教育行政を担うことに

なり、基礎学力と規範意識を育てる教育が後退すると考えています。

家族、戸籍、国家の解体

夫婦別姓制度の導入、戸籍制度の廃止への運動も活発化してきています。民主党政府は、「選択的夫婦別姓制度」導入に向けた民法改正案を提出する考えをもっており、法相、少子化担当相は、記者会見でも特に強い意欲を示しました。「家族の絆」や「家族の一体感」が損なわれる法案であり、子供たちへの悪影響も大きいことでしょう。民主党は戸籍制度の廃止を目指す議員連盟を発足させようとしており、家族解体、戸籍廃止に向けた動きは加速しています。

また、「国家主権」や「国の安全」をおびやかす永住外国人に地方参政権を付与しようという法案にも前のめりになっています。今年九月、民主党の小沢一郎幹事長は、李明博大統領の実兄であるハンナラ党国会議員の李相得（韓日議員連盟会長）と会談し、地方参政権付与について「通常国会で目鼻をつけた」と述べました。民主党の政策集「INDEX2009」には、「民主党は結党時の『基本政策』に『定住外国人の地方参政権などを早期に実現する』と掲げており、この

方針は今後とも引き続き維持していきます」と記しています。

主権を守る

中国は尖閣諸島の領有権を主張し、韓国は竹島を不法占拠しています。また韓国の一部政治家は、対馬は韓国領土だと主張し始めています。日本には現在約四十二万人の特別永住在日韓国・朝鮮人の方、また中国・ブラジルなどを含めると約九十二万人の永住外国人の方がおられますが、彼らが日本国籍を取得しないままでも地方参政権を行使することは、憂慮される事態を招かねません。基地や原子力発電所のある自治体では、安全保障上の問題にも発展する可能性がでてきます。

私は、超党派八十五名の国会議員が所属している「日本の領土を守るために行動する議員連盟」（領土議連）の会長として、これまでこうした問題に取り組んできました。どの国も、主権、国益、国から、伝統文化を守ることを政治の重要な使命と考えています。参政権がほしいなら、日本国籍を取得して権利を行使すべきで、外国籍のままの人に地方参政権を付与するのは反対です。

自民党は保守の原点に戻る

今回の衆議院選挙で、自民党は国民から厳しい審判を下されました。「反省しなさい自民党」の声を真摯に受けとめ、日本を守るための力をふたたび取り戻すためには「保守政党」という原点にたち戻る必要があります。国家解体、家族解体、社会主義的政策を進めようとする民主党に対し、自民党の仲間とともに、ご先祖さまからお預かりしているこの美しい日本を守り、発展させるよう努力してまいります。

山谷えり子さんのプロフィール

東京都生まれ(出身は福井県)聖心女子大学文学部卒業後、出版社勤務を経て、ラジオ・雑誌・新聞の特派記者として渡米、家族・教育・生活問題などを取材する。サンケイリビング新聞記者、産経新聞生活面記者、テレビキャスター、エンセイス、サンケイリビング新聞(発行部数約九百万部、世界最大の主婦向けの情報紙)編集長に。

- 平成12年：衆議院議員初当選
- 平成16年：参議院議員(比例区)初当選
- 平成17年：内閣府大臣政務官 就任
- 平成18年～20年：内閣総理大臣補佐官(教育再生担当)
- 平成20年：自由民主党女性局長 就任
- 平成20年：自由民主党拉致問題対策特命委員会事務局長 就任

参議院所属委員会

- 文教科科学委員
 - 国家基本政策委員
 - 内閣委員会委員
 - 北朝鮮による拉致問題等に関する特別委員
- 1男2女の母。



天皇陛下御即位二十年

奉祝実行委員会報告

実行委員長 梶 道嗣

平成二十年十二月十九日(金)東
京ドームシティー・JCBホールにて
天皇陛下御即位二十年奉祝中央式
典が「平成の御代を讃え、国民の感
謝のまこと」をテーマに経済界・政
界・医師会・労働組合・学界・神社界
と仏教界の一部の宗派がこの奉祝委
員会の役員となり盛大に開催され
た。地元京都からも京都府神社庁
長でもある神社本庁副総長田中恆
清氏をはじめ、前府議会議長家本丈
夫氏、京都大学名誉教授市村真氏、
同元総長岡本道雄氏、同教授中西
輝政氏、京セラ名誉会長稲盛和夫氏、
裏千家前家元千玄室氏、天台座主
半田孝淳氏、京都府知事山田啓二氏
など、多数の方々が代表委員に名前
を連ねておられる。

この様に、全国的に御即位二十年
奉祝の気運が高まる中、皇室の故郷
といえるこの京都の地においても奉
祝の誠を捧げる行事や事業が出来
ないものかと考え、平成二十年十二
月五日、京都府神社会館にて関係団体
有志が集い発足したが当実行委
員会設立の経緯である。

これまでの会議の内容を振り返つ
てみると、第二回目の委員会ではまず
平成二十年十二月に日本会議、京都
とともに奉祝委員会を立ち上げ開
催を予定している奉祝式典に京都

府民挙つて参加出来るよう奉祝気
運を高めていくことがこの委員会の
使命であることを確認した。事業の
立案にあつては林本部長より「会
議の中では自由に企画案を出し合い、
また各団体の思いも最大限尊重し
ながら、実施可能な事業を立案して
いこう。単独での開催が困難な事業
は、他の団体と合同で開催、または
神政連がバックアップするので、皆で
協力し合いながら盛り上げていこう。
何よりまとまりのある一連の事業と
して繋げていくことが肝要。神政連
は、必要があればそれぞれの事業に
一定の助成金を拠出する。」といった
方針が示された。会議は自由討論
形式で行われ「国旗国歌啓発活動」
「宮中祭祀についての講演会の開催
(国民精神合同研修会の一般化)」
「花の種をつかった広報」「奉祝神事
芸能会の開催」「鎮守の杜フェスタを
御所」など様々な意見が出された。
第二回目の委員会では事前に各
部会で検討された具体案が提出さ
れた。事業部会では本年が御即位二
十年であるというこの意識付け、
一般的には知られていない宮中祭祀
を広く知って頂けるような事業を考
えてはどうかとの意見を採用。①神
道青年近畿地区連絡協議会発行の
「鎮守の杜(天皇陛下とお祭り)」を

府内神社へ無料配布。②タクシーの
バナー広告の実施。③授与品や商品
の包装紙に添付する奉祝シールの作
製・配布。④奉祝記念行事の開催。
⑤奉祝祭典の斎行。⑥記念植樹の
奨励。⑦御即位二十年奉祝懸垂幕
の再送付(京都市商店街組合含む)
⑧府内各社への奉祝行事アンケート
の実施などの提案がなされ順次実
行に移すことになった。また、広報部
会ではこの頃ホームページの開設につ
いての協議がなされ、①携帯電話か
らでもアクセスが可能なページ作り。
②インパクトのあるロゴマークの作成
に着手していた。後に事業部会で企
画された事業を一部、広報部会で遂
行することとなる。

多岐にわたる企画事業も順調に
進む中、奉祝行事の開催場所におい
て一つの大きな壁に突き当たる。当初
より奉祝行事は関係者を動員して
開催するのではなく、不特定多数の
人が集まる場所で行うことに意義
があるとの方針であったため、JR京都
駅の大階段での開催を考えていた。
大階段はJR西日本の管理下にあ
り、公共性が強いものについては安価
で使用できると聞いていた。この行事
は京都府氏子青年連合会設立四十
年の記念事業と共催にて行うこと
から、大垣副実行委員長が交渉に
あたった。当初窓口での対応はそれ
ほど難しいものではなく、むしろ良い
感触であったとの報告を受けていた
ので、委員会では具体的内容について
の協議に入っていた。そんな最中、突
然先方より使用許可は出来ないとの
連絡が入った。理由は、「当実行委
員会主催では政治色・宗教色が濃
くお貸しすることが出来ない。京都
市や観光協会との共催を得ないと
許可できない」とのことであった。し
かしながら、過去にはこれらの共催
のないイベントも多々行われており、
納得がゆかないためJR東海・観光
協会・京都市・商工会議所の上層部
より直接社長に取り合ってもらった
結果、経営者の思想・信条についての
疑念が原因であり、且もつれた糸は
なかなかほぐれそうになかった。な
らぬものに何時までも時間を掛ける
のは無駄と判断。急遽市内お社の境
内で開催する方向に転向、平安神宮
九條道弘宮司の温かいご好意を賜
り、奉祝行事は平安神宮で執り行
うこととなった。テーマは「京の祭り
舞台」。京都府下各所・各季節に催
されている特色ある神賑行事を一堂
に集めて広く府民、観光客にご覧頂
き、京都の伝統文化の素晴らしさと、
本年が天皇陛下御即位二十年の佳
年であることを告知し、尚且つ平安
神宮の御神前に奉仕者と主催者の
奉祝の誠を捧げるとの趣旨を掲げ
企画した。演目は①維新勤王鼓舞
隊(平安神宮時代祭)。②胡蝶の舞
(石清水八幡宮石清水祭)。③綾傘
鉦棒振囃子(八坂神社祇園祭)。④
神若会北野天神太鼓(北野天満宮)。
⑤岩滝の獅子神楽(丹後板利稲荷
神社)の五演目。平安神宮の中庭
「龍尾壇」を背に特設舞台を設置、



チエロ演奏をききながらのパネル展

額殿・記念殿を控え室にお借りするなど全面的な協力を得、盛大に開催することができた。当日は梅雨時にも拘わらずお天気にも恵まれ、また神苑では菖蒲が咲き誇り見頃を迎える最高の日曜日。観覧者は準備した四〇〇席の客席を埋め尽くし立ち見が應天門まで達する程であった。用意した二千本の奉祝団扇とチラシは瞬く間になくなり、予想を遙かに超える成果があったと確信している。ここで改めて平安神宮宮司様を始め職員各位のご芳情に感謝申し上げます。

平安神宮での奉祝行事を終え息入れる間もなく、日本会議北部支部より天皇皇后両陛下の写真パネルを借用できるといふ情報が入った。これに合わせ近年、御親拝のあったお社にもご協力を頂き、奉祝写真パネル展を企画することになった。

一回目は京つけもの「西利」さんのご協力を得、祇園店の三階ギャラリーにて八月二十六日より三十一日の六日間に亘りパネル展を開催させて頂いた。期間中には陛下におかれてはチエロがお好みであるとのことから二十九・三十日の両日二回公演で京都芸術大学の学生さんによるチエロのソロ演奏を実施、拝観者は優雅な音色を堪能しながらパネル展を楽しまれていた。二回目は地下鉄烏丸御池駅構内の「御池ギャラリー」にて開催することを企画。十一月七日(土)より十二日(木)までの六日間に亘り開催した。この駅は平日サラリーマンが多く利用する駅であり、また期間中には天皇陛下御即位二十年を記念した京都御所の特別公開も開催されているため、まさに時機を得たパネル展となった。また交通局のご好意もあり御池駅をはじめ、市営地下鉄各駅の掲示板に告知ポスターも掲示できたので、相当の周知効果があったものと思う。

奉祝京都式典の日程及び会場が十二月十九日(土)国際会議場に決定したところ、両陛下におかせられては十二月十八日から二十日の御日程でご入浴遊ばされるとの由洩れ承ることもなかった。本来ならこの千載一遇の時機を失せず、提灯行列などを企画し奉祝のムードを一起に盛り上げたところであったが諸般の事情からパレードは自粛し、ご訪問先・御所ご到着の時間に合わせ、神社界のみならず広く各団体にも呼び掛け

大掛かりなご奉迎団を企画実施した。さらに陛下のお印「棠」に因み桐の苗を斡旋し記念植樹を奨励したところ、全国より二五〇件を超える申し込みがあった。

本実行委員会は、このご奉迎が後の事業となるが、振り返ってみれば時間がない中本当に多くの素晴らしい奉祝行事が実施出来たと自負している。これも偏に若手神職の新しい発想、また神職以外の委員による斬新な意見、今までの私共の考えから視点を変えた事業をつひと積み重ねた結果であった。私たち神職は、仕来りや慣習といったものを尊重しつつも、場合によってはそういった殻を打ち破ることも必要であるということを勉強させていたいた。

天皇陛下万歳



岩滝獅子神楽



会員大会

●日時：平成二十一年六月二十四日
●場所：リーガロイヤルホテル京都

去る、六月二十四日、第二十三回会員大会が五百名を越える参加者を得て開催された。第一部は齋藤副幹事長の司会で、国旗儀礼に始まり、国旗儀礼にて取納める一連の式典が滞りなく進められた。

来賓として、神道政治連盟宮崎義敬会長をはじめ各関係団体代表、国会、府議会議員に参列いただいた。また今年度功勞者表彰として規定に則り組織拡充に特に顕著な功績があったとして乙訓、船井両支部に感謝状が贈呈された。第二部の講演会は、京都で初講演となる前航空幕僚長 田母神俊雄氏を講師に迎え、神道政治連盟京都府本部と日本会議、京都の共催として開催された。田母神氏はユーモアあふれるジョークなども交えながら舌尖鋭く憂國の持論を語っていた。



第二部 講演会抄録
講師：前航空幕僚長 田母神俊雄 先生

演題

「日本は侵略国家であったのか」

私は「危ない奴」「危険人物の田母神」だと言われ、三度目で「グビ」になった。今回問題となった論文では、「日本は良い国だった」と言っただけだ。特段今回初めてそう言ったわけではなく、私は以前からずっとそう書いている。自分の国を褒めて公職を追われる国は、日本以外に世界中どこにもない。自衛官には憲法で保障される言論の自由はないのだから。

日本の国防を考える

世界の軍隊はしてはいけないことを定めた「禁止規定」で動く。しかし自衛隊はしても良いことだけを定めた「根拠規程」だ。任務が書いていないと動けないわけである。戦後の占領統治の中で、日本の贖罪意識を植え付けられた歴史認識の誤りがここにもある。

日本の外交を考える

自分の国を自分で守られなければ、国の利益を守ることは出来ない。
日本も「ニュークリア・シェアリングシステム(核兵器発射ボタンの共有)」を導入

日本の歴史認識を考える

すべきた。核武装したのと同じ効果があげ、相当な抑止力にもなる。現行憲法の中でも核武装はできる。核を持つ国と持たない国の国際社会における発言力は全く違うものになる。

近隣諸国の軍事力増強を見れば猶予はない。私は五年前、中国の範長龍陸軍中将と歴史論争をしたことがあるが、先の大戦で日本軍が残虐行為をしたとする歴史観に「あなたとは歴史観が異なる。日本は極めて穏健な中国統治をした。」と反論した。彼は反論されたのは初めてだったようでビックリしていた。私は自国に対するいわれなき誹謗中傷には毅然と反論するのが、自衛隊の将官の務めだと思っている。今の政府も「日本の国家観・歴史観」をきちんと主張すべきた。ここは決して譲ってはいけない。

コミンテルの策謀「ハル・ノート」が日米開戦のきっかけだ。ルーズベルト大統領は「マツカラム覚書」をもとに、日本を追い詰め、やがて日本は戦争に引き込まれていった。日本が侵略したため戦争になったというのとは大きな間違いだ。戦勝国が書く歴史にすべて書き換えられてしまう。

東京裁判は、勝者が敗者を裁き、法律が遡及しないという近代民主主義国家の原則に反した裁判だ。A級戦犯とされた人々は、理不尽な判決を受けたことになる。よって私たちは、積極的に彼らの霊を慰めるようつとめるべきだ。

日本が戦前に朝鮮半島や満州を住みやすい場所にしたのは事実である。その

証拠に日本が侵略したといわれる時期に朝鮮半島の人口は約二倍に増えている。そして、日本人と同等の教育を与えるなどの政策を実施した。世界では日本以外にこの様な善政を行った国はない。日本が本当に韓国を侵略したのか、冷静に見てほしいと思う。

日本は敗戦後、ウォー・ギルト・インフォメーションプログラム(戦争の罪悪感を日本人に意識させるための計画)により、社会に自己破壊装置を埋め込まれた。その結果、知識層から日本の左翼的傾向は強化され、今もその人たちが日本社会の中核に大勢いる。そして、左翼的な言論の自由だけが無限に許される社会を作ってきた。左翼的言論に圧倒されないためには、この保守の言論をもっと活性化していくことが最も重要だ。皆様の活躍を大いに期待したい。(神尾和俊)



あしあと

事務局からの活動報告(平成二十二年七月〜平成二十二年十二月)

7月
文月

平成21年

- 7月10日：●丹波五支部連合総会 林本部長出席〈於 サンプラザ万助〉
 7月14日：●衆議院議員選挙対策会議 林本部長以下関係者8名出席〈於 京都府神社会館〉
 7月23日：●京都府神社庁 関係団体代表者懇話会 林本部長他出席〈於 京都府神社会館〉
 7月24日：●衆議院議員選挙対策会議 林本部長以下関係者20名出席〈於 京都府神社会館〉
 7月27日：●皇太子殿下御来京御奉送迎 関係者参加〈於 京都駅〉
 7月30日：●第7回天皇陛下御即位二十年奉祝実行委員会16名〈於 平安神宮記念殿〉

8月
葉月

- 8月 3日：●英霊にこたえる会運営委員会 中嶋事務局長出席〈於 京都市役所〉
 8月 5日：●神道政治連盟全国選挙対策委員会 梶幹事長出席〈於 神社本庁〉
 8月15日：●終戦記念日の集い 中嶋事務局長出席〈於 靖国神社〉
 8月23日：●中郡神社総代会総会 林本部長出席〈於 金刀比羅神社会館〉
 8月26日～9月1日迄：●第1回天皇皇后両陛下下写真パネル展 のべ250名来館〈於 きゃらり、西利〉
 8月27日：●清水鴻一郎衆議院議員候補者決起集会 林本部長以下関係者出席〈於 リーガロイヤルホテル京都〉
 8月28日：●伊吹文明衆議院議員候補者決起集会 林本部長以下関係者出席〈於 京都産業会館シルクホール〉
 8月30日：●第45回衆議院選挙投票日
 8月31日：●伊吹文明衆議院議員、谷垣禎一衆議院議員当選祝電打電

9月
長月

- 9月 1日：●京都府本部監査委員会開催 本部長以下12名出席〈於 八坂神社常磐新殿〉
 “：●京都府本部役員会 本部長以下21名出席〈於 八坂神社常磐新殿〉
 9月11日：●神政連中央本部役員会 林本部長出席〈於 神社本庁〉
 9月17日：●綴喜神社総代会総会 梶幹事長出席〈於 高知〉
 9月26日：●第38回交通慰霊祭 関係者参列〈於 西陣織会館〉
 9月30日：●平成21年度第2回定例代議員会開催〈於 京都府神社会館〉

10月
神無月

- 10月 7日：●京都府神社庁神宮大麻暦頒布始奉告祭 吉田副本部長参列〈於 京都府神社会館〉
 “：●第19回神宮大麻頒布増進推進懇話会 吉田副本部長出席〈於 京都府神社会館〉
 “：●京都市上支部総会 林本部長出席〈於 天喜〉
 10月 8日：●第8回天皇陛下御即位二十年奉祝実行委員会16名〈於 北野天満宮〉
 10月15日：●第1回天皇陛下御即位二十年京都奉祝実行委員会24名〈於 京都府神社会館〉
 10月28日：●霊壘簿からの氏名抹消等請求訴訟第2回口頭弁論傍聴券獲得 関係者出席〈於 大阪高裁〉
 ●天皇陛下御即位二十年京都奉祝実行委員会小委員会〈於 本能寺会館〉
 “：●英霊にこたえる会京都府本部第32回定期総会 林本部長以下関係者出席〈於 本能寺会館〉
 10月31日：●京都市上支部神宮大麻暦頒布始奉告祭並び総会 林本部長出席〈於 白峯神宮〉

11月
霜月

- 11月 4日：●第2回天皇陛下御即位二十年京都奉祝実行委員会39名〈於 ホテルグランヴィア京都〉
 “：●日本会議 京都平成21年度総会講演会 関係者出席〈於 ホテルグランヴィア京都〉
 “：●洛北支部総代会総会 林本部長出席〈於 京都ブライTONホテル〉
 11月7日～12日迄：●第2回天皇皇后両陛下下写真パネル展 〈於 地下鉄烏丸御池駅ギャラリー〉
 11月11日：●天皇陛下御即位二十年京都奉祝実行委員会小委員会 〈於 京都府神社会館〉
 11月12日：●天皇陛下御即位二十年をお祝いする国民祭典 本部長出席〈於 皇居前広場〉
 11月17日：●第3回天皇陛下御即位二十年京都奉祝実行委員会 〈於 京都府神社会館〉
 “：●京都府神社庁新嘗祭 参列〈於 京都府神社会館神殿〉
 11月18日～20日：●天皇皇后両陛下御来京御奉送迎〈於 京都各所〉
 11月26日：●京都府戦歿者英霊追悼慰霊祭並びに時局講演会〈於 京都ガーデンパレス〉
 “：●清政47号発行

御歌を拝して。

生命ある

ものかなしき

早春の

光のなかに

揺り蚊の舞ふ

今回は、前号に引き続き本年の歌会始で詠まれた歌の中から、皇后陛下の御歌を紹介させていただきます。御題は同じく「生」です。

この御歌に詠まれている「ユスリカ」は、実は蚊ではなくハエの仲間、川縁などに群がり立つ「蚊柱(かばしら)」をなす昆虫として知られています。蚊ではないので、人を刺すようなことはないのですが、時折人の頭の上に群がりいくら逃げてでも離れなくなることからも、敬遠されがちなお虫でもあります。

皇后様は、恐らく何かの御散策の折、多分皇居内の水縁で見かけた「蚊柱」をご覧になりこの御歌をお詠みになられたのでしょう。

「ユスリカ」は幼虫やサナギの間は土の中や水中で過ごし、羽化してからの命は僅か、二日間しか生きられないそうです。そしてその間は何も食べずに死んでいきます。この様な微細で普段我々は気に留めない、敬遠さえる「昆虫のはかない「生命」にさえ、お心を寄せられ「生命」の尊厳、永遠性を感じ取られる皇后様のやさしさに私たちは強く心を打たれます。

やわらかな春の光の中にキラキラと輝くように飛び回るユスリカはその精一杯の命のはかなさ故に、神々しくさえもあつたかも知れません。(史)

編集室だより

子が姓を選ぶ時代

政権交代を機に、夫婦別姓法案を押し通そうと、千葉・福岡両大臣が息巻いている。なるほど結婚して姓が変われば不便な人もきっと多いだろう。だからといってその一部の人の不便を解消するために国の法律を変えてもらっては大方の一般人には甚だはた迷惑なはなしだ。

夫婦別姓は家族において新たな混乱、争いの火種になるに違いない。特に子供が将来父母どちらかの姓を選択するなどは残酷な仕打ちでありいらぬ悲劇も生むだろう。夫婦円満、離婚するわけでもないのに、手塩にかけた子供からある日突然「今日から母さんの姓にするわ」と言われた日にはさぞかしショックだろう。いやうちの子ならば、「小遣いアップしてくれたらお父さんの姓にしてもいいで」などと小賢しく図々しいことを言うに違いない。

それを聞いた爺婆が何とか我家の姓を嗣がせようと孫にせせとこづかいを貢ご機嫌を取る始末。それでいいのか日本の家族は。それとも頭の古い男のただの妄想にすぎぬのか。(史)

●ご意見ご感想をお待ちしています。
投稿はご氏名ご連絡先を明記の上、FAXか電子メールでお願いします。
宛先/神道政治連盟京都府本部
「清政」編集室
ファックス/075-863-6664
電子メール/
info@kyoto-jinjacho.or.jp



このロゴマークは、わたくしたちの会名である「神道政治連盟」の英訳の頭文字SAS (Shinto Association of Spiritual Leadership) と日本古来の装飾品である勾玉(マガタマ)をデザイン化したものです。

清政 第47号

発行日 平成21年11月26日(木)
発行所 神道政治連盟京都府本部
〒616-0022 京都市西京区
嵐山朝月町68-8
電話 075-863-6677

神政連ホームページをぜひご覧ください。
<http://www.sinseiren.org>

編集協力 (株)ハルプロモーション

鳩山外交が始動した。国連に向向き、気候変動首脳会議で日本の温室効果ガスの新たな削減目標として「二〇九〇年比で二五%削減する。途上国には、これまでと同様以上の資金的、技術的な支援を行う用意がある」と誇らかに発表した。「会場からは大きな拍手がわき起こった」と伝へられた。そりゃあさうでせう。こんな美味い話はない。「首脳会合ではオバマ米大統領や胡锦涛中国国家主席も演説した。だが、決意を表明した程度で具体的数値目標は示さなかつた。両国とも理想とは別に、自国の経済的負担を軽くし、いかに利益を勝ち取るかを話し合う場である」と知り尽くしているからだろう(産経新聞「主張」)この国も自分の国の利益が第一で、国連はその駆け引きの場である。

「世界はみんな腹黒い」の話をせば分かる友愛外交は、中国、韓国をよろこばせるだけである。「週刊新潮」に連載中の人気辛口コラム「変見自在」でおなじみの高山正之氏の「世界は腹黒い」(高木書房)を読めば、世界はどれだけ腹黒いかがよく分かる。かつて産経新聞の記者だった筆者は、ジャーナリストとして世界各地を飛び回り、目で見て、そして「よくぞここまで」と思ふ資料を精査し、世界で起つてあるさまざまな問題を簡潔な文章で解き明かしてくる。テレビや新聞では決して語られない、口をつぐんで書かうとした部分にも鋭い鏡が入れられ「ああさうだったのか」と、つつ腑に落ちるのである。

この書は、かつて産経新聞に連載されたコラム「異見自在」の集大成だが、合はせてお薦めしたいのが同氏の「サダムフセインは偉かった」「スーチー女史は善人か」「ジョージ・ブッシュが日本を救った」「オバマ大統領は黒人か」(いずれも新潮社刊)。他にもあるが、とにかく痛快。読みやすい文章なので秋の夜長、一気読みしてしまひたくなる、そんな好著である。

貴船神社宮司 高井 和 大



世界は腹黒い 異見自在
著者:高山正之 高木書房(¥1,890)

「世界はみんな腹黒い」の話をせば分かる友愛外交は、中国、韓国をよろこばせるだけである。「週刊新潮」に連載中の人気辛口コラム「変見自在」でおなじみの高山正之氏の「世界は腹黒い」(高木書房)を読めば、世界はどれだけ腹黒いかがよく分かる。かつて産経新聞の記者だった筆者は、ジャーナリストとして世界各地を飛び回り、目で見て、そして「よくぞここまで」と思ふ資料を精査し、世界で起つてあるさまざまな問題を簡潔な文章で解き明かしてくる。テレビや新聞では決して語られない、口をつぐんで書かうとした部分にも鋭い鏡が入れられ「ああさうだったのか」と、つつ腑に落ちるのである。

せいせい書評

今読んでおきたいっておきの書籍



生き方 人間として一番大切なこと
著者:稲盛和夫 サンマーク出版(¥1,785)

息子の誕生日プレゼントとしても贈った、私の愛読書の冊を、紹介させていただきます。今や世界を代表する地元京都の雄「京セラ」と通信会社大手「KDDI」を創業した稲盛さんが書かれた本は多数ありますが中でもこの本は集大成ともいえる人生哲学が詰まっています。

未曾有の経済不況が蔓延している日本経済ではありますが、政権を交代しても明るい兆しが見えず、これまで続くか分らない長いトンネルに入っている状況が続いているこんな時代だからこそ勇氣と希望を与えてくれるこの二冊をお勧めします。

日本が「欧米化している」と言われて久しいですが近年目に見えて日本人の感覚が変化しているかと思っています。サブプライムローンに象徴される拝金主義、格差社会の顕在化、将来を憂いた犯罪、その他の凶悪犯罪の多様化

等どれをとっても人間の欲望に身を任せた身勝手な行動が現在の社会にはびこっていると思えます。いつの時代もその様な人間の側面を断ち切る事が出来ないかも知れませんが、我々はそのような方向に向かない社会を作る役目や義務があるかと思っています。

この本は人間にとって本当に大事な事、忘れかけていた事を分かりやすい言葉で語ってくれています。生きる事の意味を著者の考えが自らの体験をもとに解りやすく書かれています。また、「因果応報」の道理を大きく3つに分けられ、善因善果(善を行えば、善い結果が返る)、悪因悪果(悪を行えば、悪い結果が返る)、自因自果(自分の行いの報いは、自分に返る)を三十年ほどの長いサイクルで道理を説明してくれています。

日本での出版物は毎年七万冊以上の本が出版されていますが近年の書目の中でも私が最も気に入っているお勧めの中の二冊です。この度はこの様な機会を頂戴し感謝しています。二十三年七月に京都にて開催予定の全国氏子青年協議会全国大会のご協力と、今後も変わらず京都府氏子青年連合会の活動にご支援の程よろしく願っています。

神道政治連盟京都府本部
副幹事長 大垣 守 弘